

明石市立天文科学館ボランティア「天ボラ」

～ 楽しく活動しています!! ～



「天ボラ」は、天文科学館で活動するボランティアグループです。2010年、天文科学館の開館50周年にむけてのリニューアルオープンにあわせて、ボランティア活動がはじまりました。

土・日・祝日や夏休み期間などの長期休日を中心に、展示室で展示解説をしたり、キッズルームで絵本の読み聞かせをしたり、天体観望会で望遠鏡を操作して星を観望してもらう等の活動をしています。高校生からシルバー世代まで、幅広い年齢層の人が活動しています。来館者や参加者に展示室や星空を楽しんでいただくのがイチバンですが、私たち・天ボラも一緒に星空・宇宙を楽しんでいます！

★天ボラになるためには？

まずは！！16歳（高校生）以上になりましょう。

高校生からシルバー世代まで、幅広い方が活躍中！

①「星の友の会」に入会しましょう。

星の友の会では、例会や天体観望会、野外天体観測会など、いろいろなイベントを行っています。星の友の会の活動を通して、会員同士の交流を深め、星や宇宙について楽しみましょう。自分が感じた楽しさを展示解説などの活動を通して、来館者に伝えています。

②天ボラ登録申請書を提出しましょう。

③研修会に参加しましょう。

研修は、「天文科学館の概要」「ボランティア制度と趣旨」「館の展示について」などの基礎研修(1日)と、実践研修(1日)があります。また、天体観望会グループで活動するには、天体観望会グループ研修も受講します。

④研修が無事に終われば、いよいよ活動開始。天ボラ・デビューです！

天ボラで活動するまでの流れ

① 「星の友の会」へ入会

② 天ボラ登録申請書を提出

③ 研修会参加

④ 活動開始

★天ボラには3つのグループ

1 展示解説グループ

3階展示室で、「太陽系儀」や「月の満ち欠け」の展示を中心に展示解説をします。来館者に近い視点で展示物と接するパートナーです。

2 キッズルーム・星優グループ

キッズルームで、絵本の読み聞かせなど子ども達が楽しく遊べるようにお世話をします。星優に登録するとプラネタリウム番組の星座物語で声の出演も！

3 観望会グループ

口径 40cm 反射望遠鏡のある 16 階天体観測室の一般公開や天体観望会で、望遠鏡の操作や説明、星空案内をします。

★観望会グループ・・・星を見ています！



天文科学館では、月に1回、16階観測室にある口径40cmの反射式天体望遠鏡で星を見る「天体観望会」をしています。天体観望会では、観測室だけではなく、4階日時計広

場に小型の望遠鏡も出して、順番待ちの参加者などにも星を見ていただきます。

この時に、観測室や日時計広場で、望遠鏡を操作したり、説明をしています。初めて望遠鏡で星を見る人にも、わかりやすく望遠鏡の覗き方や観望天体の見所を教えています。

観測室は、毎週土曜日に、昼間にも一般公開をしています。晴れていれば、昼でも望遠鏡で金星等の星を見ていただくことができます。昼間に星が見えることに驚かれる方もたくさんいます。

●平成26年度の天ボラの状況

登録者数／96名

(内訳) 展示解説グループ／70名
キッズルーム・声優グループ／49名
観望会グループ／68名

男の人／48名 一番先輩の人／82歳
女の人／48名 一番若い人／16歳